

第1回 3年生学年集会

日時：令和4年4月14日（木）6限 場所：体育館

これから本格的に受験勉強をする3年生にとって大切な心構えを3人の先生方からお話をさせていただきました。

（1）鈴木校長先生より

校長先生からは主に2つのこととお話しさせていただきました。1つ目は「可能性は無限大」ということ、2つ目は「掛け算の時代」ということです。

① 可能性は無限大



3年生の皆さんは成績が伸びる時期が必ずやってきます。なぜ伸びるのか？それはまず、皆さんの**個の能力が高い**からです。集中力、努力できる力、困難を乗り越える力、それらを皆さんが持っているからです。それと、もう一つ、この学校の生徒が、**個の力を持った集団**だからです。刺激しあえる、協力しあえる、勉強する雰囲気をつくれる、そういう集団だからこそ成績が伸びる時期がやってくるのです。

② 掛け算の時代

これからは一人の人間が複数の専門性を持つ時代です。二つの分野が融合して新たな技術が生まれています。例えば、Google mapと任天堂のゲームの技術からポケモンGOが生まれました。医学と工学の融合から手術支援ロボットのダビンチが誕生しました。岐阜大学では自動運転トラクターが工学と農学の協力で研究されています。幸福学の研究者の前野隆司氏はもともとロボット工学の専門家で、心のあるロボットの開発を通じて心理学に興味を持ち、そこから人間にとっての幸福とは何かを考えるようになりました。皆さんも大学進学を考えるに当たって、大学院への進学も視野に入れて**複数の専門分野を学ぶ**ことを考えてほしい。

（2）進路支援部長 松野先生より

最初に松野先生から各クラスに人数分のプリントが渡され、どのクラスが最初に配り終わるかを工夫して配布しました。その後、過去の入試データをまじえながら、受験生としての勉強の仕方についてお話をさせていただきました。



① 効率よく勉強する

プリントを配布するという同じ目標の作業でも、どのように配布するかで早いクラスと遅いクラスができます。受験勉強も同じです。受験生に与えられている時間は限られています。その中で**どうすれば効率よく勉強できるか**、自分で工夫することが大切です。

② 「第1志望」を貫く！

「この大学で勉強したい」という強い心を持った人が最後まで頑張れます。昨年度の受験生は国公立大学の中期日程と後期日程で50人ももの合格者ができました。最後まで粘り強く頑張った成果です。確かに入試では皆が第一志望に合格できるとは限りません。しかし、第一志望に合格できなかったとしても、人生は決して終わりではありません。この先、第一志望に向けて努力したことは必ず有益なものとなるでしょう。

(3) 学年主任 佐野先生より

佐野先生からは、学年目標や、自分の良さを生かすこと、夢がかなうまで諦めず努力することの大切さを話していただきました。



① 学年目標

今年の学年目標は、以下の3つです。

- ・ 礼節と規律を大切にし、真剣に取り組む（誠実）
- ・ 自分と仲間を認め、共に困難に打ち勝つ（友愛）
- ・ 明確な目標に向かい、努力を積み重ねる（努力）

目標の実現を目指してがんばりましょう。

② 夢をかなえるまで諦めない

この1年は皆さんが大きく成長する1年です。本気になって努力すれば必ず成長します。すると、きっと今までとは違った世界が見えてくるでしょう。そして、何かに自信を持ってもらいたい。それは必ずしも勉強でなくてもいいのです。**自分の良さを生かして、壁を乗り越え、さらに高みへと向かってほしい。**夢をかなえる方法は、夢がかなうまで諦めないことです。私も修学旅行に行きたいという気持ちを諦めません！

今回の学年集会では、3人の先生方がそれぞれの立場で熱く語っていただきました。集会の後、生徒の間から、「やる気が湧いてきた！」という言葉が聞こえてきました。